

令和5年度千葉市芸術文化振興事業補助金 事業実施報告

市民参加事業 申請事業数6事業、採択事業数5事業

(1) 和—楽しもう鑑賞と体験—

主催団体	伝統芸能に親しむ会
事業概要	囃子・箏・日本舞踊・地歌・津軽三味線の公演と、講師指導による伝統芸能の体験を行う。
補助金額	200,000円
日時	令和6年2月17日(土) 13時00分～15時30分(12時30分開場)
会場	千葉市文化センター アートホール
事業実績	出演者 17人(うち一般参加者14人) 来場者 160人(うち一般観客動員160人)
主催者感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政だよりに載らなかったため、集客について心配していたが当会事務局に問い合わせが多数あり、楽しみにしているとの言葉をいただいた。 ・ 回を重ねるにつれ、リピーターの方が少しずつではあるが、増えてきている。 ・ 昨年度、邦楽囃子を増やして好評だったので、今回も邦楽囃子の人数を増やして華やかに開演した。また、琉球舞踊はしっとりとした古典舞踊と雑踊りの両方を披露し、大変好評であった。いつものように雛人形を近隣の人形展から借り、ホワイエに展示して和の雰囲気を楽しんでもらった。芸能に限らず日本の伝統文化を鑑賞できる場となった。 ・ アンケート結果によると、各公演について、興味を持って、楽しく参加したなどのコメントをいただいた。 ・ ネットによる配信を行い、アーカイブもあるため、多くの人に見ていただくことができた。後から高評価のコメントをいただいた。 ・ 集客については、来ていただく年齢層(年配の方、及び就学児童生徒・未就学児童)のことを考えると、チラシや新聞記事がとても大切であると考えた。 ・ できるだけたくさんの新聞や広報に乗せてもらえるように努力していきたい。
視察所見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラムに英語が用いられており、外国人への意識を感じられた。 ・ 伝統芸能に親しみを持ってもらえるよう、観客を巻き込んだ説明をしており、内容もバラエティーに富んだものであった。 ・ ステージ上での体験は、学生など若年層の参加率が高かった。 ・ 出入りが自由になっており、気軽に参加できるように感じられた。



(2) 第70回千葉市民音楽祭

主催団体	(特定非営利活動法人)千葉市音楽協会
事業概要	千葉市を拠点に活動する合唱等の団体が16グループ集まって、午前午後の部に分かれて演奏。日頃の練習の成果を披露。
補助金額	200,000円
日時	令和5年11月12日(日)11時30分～14時50分(11時開場)
会場	千葉市民会館 大ホール
事業実績	出演者 300人(うち一般参加者280人) 来場者 約460人(うち一般観客動員180人)
主催者感想等	<ul style="list-style-type: none"> 参加団体が、コロナ禍を経て3年振り開催された昨年と同様の16団体に留まったのは残念。 但し参加した団体の大半は、この公演を励みに1年間練習を重ねてきており、昨年よりレベルアップを果たしていることから、実施意義は大いにあったと判断。 高齢者の団体の出場が多い中、小中学生の団体が2団体参加した。この生徒たちも他の団体の演奏を鑑賞し、積極的に講評用紙に感想を記入しており、今後の練習に向けて相互に刺激を喚起している。 対象を若い世代にシフトするような施策についても模索していきたい。 来場者アンケートにも全体合唱の復活を求める声があったため、検討したい。
視察所見等	<ul style="list-style-type: none"> ホール全体に対しては客席にゆとりがあった。 観客に手振りをレクチャーし、一緒に踊るなど観客を巻き込んだ仕掛けもあった。 日頃は公民館等の小さな会場で活動している各団体が発表を披露しあう場として、有意義に機能していると感じた。 参加者は小学生から高齢者と年齢層が幅広く、バラエティに富んだ演目のため聴き手に刺激を与えるよい構成であると感じた。 出演団体が登壇後、演奏前に自己紹介や演目の解説があり、聴き手は聴く体制を作りやすかった。



(3) 第28回国際音楽の日コンサート

主催団体	(特定非営利活動法人)千葉県音楽協会
事業概要	毎年11月に実施している協会主催の公演。6年ぶりに歌劇を取り上げ、ヨハンシュトラウスのオペレッタ「こうもり」を上演。
補助金額	200,000円
日時	令和5年10月1日(日)15時00分～17時50分(14時15分開場)
会場	千葉市民会館 大ホール
事業実績	出演者 50人(うち一般参加者40人) 来場者 約700人(うち一般観客動員700人)
主催者感想等	<ul style="list-style-type: none"> 当協会のHPに当公演のチラシを掲載した他、市を通じて公民館・コミュニティセンター等へ公演チラシの配架も依頼した。その結果当日は、700名近い集客を実現することが出来た。 合唱団は、市民オペラ団体の団員15名に公募の12名が加わり組成されたが、皆で分け隔てなく公平に役割を担い協力し合いながら舞台を築き上げる事が出来た。 歌劇公演は、実現のために多大な労力を要するため、頻度を増やすことは難しいが、今回アンケート結果で好評を得たことを踏まえ、5年以内の実現を目指したい。 本公演は、来場者アンケート結果が「とても良かった65.5%・良かった32.3%」と大好評と言える結果となった。
視察所見等	<ul style="list-style-type: none"> 日本語による公演のため、一般音楽愛好家にも馴染みが薄いオペレッタでも馴染むことができた。 舞台背景に大型スクリーンが設置され、歌詞の字幕や場面のイメージ写真を表示したため、内容の理解が高まった



(4) オペレッタ「こうもり」

主催団体	シティオペラちば
事業概要	団員や市民参加者出演による、喜歌劇「こうもり」の公演を行う。
補助金額	200,000 円
日時	令和 6 年 3 月 2 日 (土) 12 時 30 分～15 時 30 分 (12 時 00 分開場)
会場	美浜文化ホール メインホール
事業実績	出演者 25 人 (うち一般参加者 5 人) 来場者 350 人 (うち一般観客動員 320 人)
主催者感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公演当日のアンケートのほとんどは、舞台の面白さに感動しているものでしたが、プロフェッショナルな目から見ると技術の未熟さが気になるとの感想もありました。団員の中にも自分の独唱さえできればよいという風潮もありましたが、回を重ねるごとにそういう傾向は薄くなってきていると思います。全員でひとつのオペラを作り上げることも、もちろん音楽性の向上のための努力が一番大切なことですが、それぞれのキャリアや能力差もありつつ、演技も含めて「オペラの舞台」の完成をみんなで目指せる団体にしていきたいと思っています。 ・ クラシック人口の高齢化の中で、特に男声については今回も 60～88 歳という超高齢化状態なので、若い人の参加や客演をお願いしていきたいと考えています。大衆オペラとしての市民権が得られるようさらに努力を続けていきたい、と同時に団の運営の強化と次世代への橋渡しのための組織強化を実現していきます。 ・ 3 回連続のチケット完売を実現してきました。現在の 350 名規模の小ホールが我々の力的にはベストなので、この活動を定着させていきたいと考えています。 ・ 今まで指導者にお任せであった舞台スタッフの強化も考えています。また 2023 年の 10 月に千葉市音楽協会と協力して、キャストにプロを迎えての公演の実現をしましたが、更にオーケストラとの共演も実現出来たらと考えています。団員の増加を実現しつつある中で、活動が続ける中、より多くの団員の協力のもとに、「感動」を実現できる「市民オペラ」として成長させていきたいと思っています。
視察所見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 客席はほぼ満席だった。 ・ スクリーンに字幕があり、オペラが初めての方でも楽しめる工夫がされていた。 ・ チケットが完売しており、オペラの需要が高いと感じた。



(5) おゆみ野文化祭 2023

主催団体	アートタウンおゆみ野
事業概要	市民による作品展示（絵画・書・きり絵・花）、ワークショップ（缶バッチ・バルーンアート）、音楽公演等、地域住民を中心とした文化祭。
補助金額	61,000 円
日時	令和 6 年 2 月 10 日（土）～令和 6 年 2 月 12 日（月祝）
会場	鎌取コミュニティセンター
事業実績	出演者（音楽公演） 117 人（うち一般参加者 113 人） 出演者（展示） 60 人（うち一般参加者 60 人） 来場者 約 1,100 人（うち一般観客動員 1,100 人）
主催者感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・ おゆみ野文化祭は、その前身であるコミコン(コミュニティ懇談会)祭りから、この街とともに歩んできた歴史がある。文化芸術で地域を盛り上げる意図で始まり、認知・支持され、継続できてきた。しかし、この活動母体である「アートタウンおゆみ野」はその会員数が減少し、新規会員もほとんどいない状況である。参加者自身が主体的に作るイベントにしていきたい。 ・ この活動について準備段階から情報を発信することにより、参加者と課題を共有し、アイデアを募り、お互いに連携し、仲間として文化祭を作り上げていく工夫が必要である。また、地域を盛り上げる、地域の魅力を発掘し PR するという観点から、地域で活動している団体にも参加してもらい、地域の魅力や活動内容の紹介の場とすることも考えられる。 ・ 芸術・文化の発表の場であるおゆみ野文化祭をきっかけにし、歴史や自然に恵まれていることを住民に知ってもらうことで地域への愛着がわき、こうした活動への関心が高まることを期待する。 ・ 次回は、主催者と参加者、地域活動団体との連携をとり、参加者・住民との距離を縮めていきたい。
視察所見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来場者は高齢者が多い印象だったが、子ども連れも多数いた。 ・ 近隣サークルの発表の場として、地域の人が作成した作品を鑑賞する機会になっており、地域に根差したイベントであった。

